**日本法社会学会 2026年度学術大会**

**報告等応募用紙**

１．日本法社会学会2026年度学術大会は2026年5月16日（土）～17日（日）に，京都大学を会場とし，対面方式で開催されます．

２．個別報告，ポスター報告，ミニシンポジウム開催を希望する会員は，学会報の記事および学会ホームページの「学術大会運営要領」をよくご覧のうえ，下記に必要事項を記入し，電子メールに添付して，または，プリントアウトの上，郵送もしくはファックスで，以下の宛先までお送りください．お問い合わせも下記までお願いいたします．

なお，ミニシンポジウムの応募要件（会員比率）については，「学術大会運営要領」の４－１（３）の「会員企画ミニシンポジウムの応募要件に関する申し合わせ」をご参照下さい（コーディネーターが会員であり，かつ，報告者またはコメンテータのうち少なくとも1名が会員であること，など）．

○ 電子メール：iit@isc.senshu-u.ac.jp

学術大会運営委員長：飯考行　宛

（電子メールの件名(Subject:)は，「法社会学会学術大会応募（〇〇〇）」としてくださるようお願いします．なお，上記件名中の「〇〇〇」の部分には，個別報告，ポスター報告，ミニシンポジウムの中から，応募されるものを記載してください．）

○郵送：〒101-8425　東京都千代田区神田神保町3-8

　　　　専修大学法学部　飯考行　宛

○ファックス：03-3265-6297

　　　　専修大学法学部　飯考行　宛

（郵送の場合の封筒の表書きあるいはファックスの頭書きには，たとえば「法社会学会学術大会応募」等，学術大会への応募であることが明瞭にわかる記述をして下さい．）

３．締め切りは2025年10月19日（日）（必着）です．

４．応募の受領後，数日中に，受領確認の返信電子メールをお送りいたします．もし届かない場合は，お手数ですが，上記メールアドレスまでご連絡下さい．

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　以下に必要事項をご記入下さい　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

１．報告者（ミニシンポジウムの場合は，コーディネーター）連絡先

氏名（ふりがな）：

御所属・職：

連絡先・住所：

電話：

ファックス：

電子メール：

２．応募する報告等の種類（◯を入れて下さい）．

（　　　） 個別報告 →　３．へお進みください．

（　　　） ポスター報告　→　３．へお進みください．

（　　　） ミニシンポジウム開催 →　４．へお進みください．

３．個別報告・ポスター報告の場合

（１）報告題名とキーワードを書いてください．

・報告題名：

・キーワード

（２）報告に共同報告者がいる場合は、次のことを書いてください．

①御氏名

②日本法社会学会の会員／会員ではない（いずれかに〇を付けてください）

③御所属・職：

４．ミニシンポジウムの場合

（１）ミニシンポジウムの題名とキーワードを書いてください．

・ミニシンポジウム題名：

・キーワード：

（２）パネリストについて書いてください．

●パネリスト１

①御氏名

②日本法社会学会の会員／会員ではない（いずれかに〇を付けてください）

③御所属・職：

④電子メール：

⑤報告題名：

●パネリスト２

①御氏名

②日本法社会学会の会員／会員ではない（いずれかに〇を付けてください）

③御所属・職：

④電子メール：

⑤報告題名：

●パネリスト３

①御氏名

②日本法社会学会の会員／会員ではない（いずれかに〇を付けてください）

③御所属・職：

④電子メール：

⑤報告題名：

●パネリスト４

①御氏名

②日本法社会学会の会員／会員ではない（いずれかに〇を付けてください）

③御所属・職：

④電子メール：

⑤報告題名：

●パネリスト５

①御氏名

②日本法社会学会の会員／会員ではない（いずれかに〇を付けてください）

③御所属・職：

④電子メール：

⑤報告題名：

［パネリストが6名以上の場合は，以下に必要に応じて追加してください］

５．使用機器の希望

報告者が会場で報告する場合に，使用を希望される機器をお教えください．（報告に使用する機材については，「学術大会運営要領５-２（３）」をご覧下さい．）

※使用を希望されても，開催校の都合により希望に添えない場合があります．PCが報告会場に設置されていない場合，OSが対応していない場合，アダプターがない場合等は，報告者・コーディネーターがPCやアダプターをお持ちください．

（　　　）機器は使用しない

（　　　）パソコン用プロジェクター

（　　　）その他（ビデオ映写装置等，具体的にお書き下さい）

６．個別報告，ポスター報告，ミニシンポジウムの概要

（１）報告の目的・方法・結果について記入して下さい．

＊採否の決定およびプログラム編成に際して，報告や企画の準備状況も考慮されますので，報告・企画の内容および準備状況がわかるように具体的な記載をお願いいたします．

（２）報告される方たちの研究経過・関連論文（報告者の報告に関するもの）をお書き下さい．

以上

（必要に応じて頁を増減してください．）